



令和4年度 小平市立小平第十四小学校 学校経営協議会

コミュニティ・スクール (CS) だより No.2

地域と共に築きます。十四小をふるさとと呼べる学校に。

〒187-0042 小平市仲町 33 TEL : 042-343-0201 E-mail gakkou@14.kodaira.ed.jp

令和4年11月1日
小平市立小平第十四小学校
学校経営協議会
会長 福島 和宏
校長 小林 広二

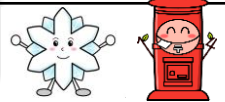
令和4年度 第2号

10月2日(日)、本校を会場に小平市総合防災訓練が行われました。私も当日の訓練の規模の大きさに驚くとともに、小平市が防災に本気で取り組んでいることを実感しました。関係機関の皆様には、子どもたちに様々な体験や見学をさせていただきました。命を守り暮らしを維持していくためにすべきことを、改めて自分のこととして考えることができ、防災意識を高める機会になりました。

さて、10月29日(土)には運動会を実施しました。避難訓練を除いて、今年度初めて全校児童が一堂に会した学校行事です。各学年の徒競走と低中高学年の表現をご覧いただきましたが、いかがでしたでしょうか。本番のがんばりとともに、重ねた練習で身に付けたことや練習への取り組み方を価値付け、一人一人の子どもたちに成長した自分自身を感じとってほしいと思います。
(小平第十四小学校校長)



学校経営協議会 3つのプロジェクトより活動報告



見守りプロジェクト	新学期始め、PTAは登校時間帯の見守り活動をしました。近頃、秋の日暮れは釣瓶落とし。学童帰りやお稽古ごとの際は、暗くても車から見えやすい色の服を。自転車利用の際は、自分と他者のためにライトをお忘れなく！
CSだよりプロジェクト	十四小では、地域の方が外部講師として行う授業や、青少対が主催となるイベントがたくさんあります。そういった授業やイベントも復活してきています。皆さんに知っていただけるCSだよりの発行を目指しています。
防災プロジェクト	先日の避難所設営訓練では、CS委員が中心となり総合受付や避難者の誘導など率先した活躍で避難所運営委員会設立に向けた良いスタートとなりました。今後は参加団体の代表者をお招きして年度内中に第一回の避難所準備委員会を予定します。

TOPICS 1

野菜の収穫を通して、感謝の気持ちを育てます。食育にもつながります



※さつまいもほりに大興奮の6年生(学年畑)

食欲の秋、そして実りの季節です。2年生の学童農園でリースを作るための「さつまいものツルとり」と収穫の「さつまいも堀り」が、好天の中行われました。一人2株を掘るのですが、自然の収穫物なので、たくさん採れる子がいればあまり採れない子もいます。皆が平等にと個数を決めて持ち帰るのですが、たくさん採れた子の方が分けることに不服そうなこともあります。大きな心で(少ない子の気持ちになって)分けてあげられるような指導を心がけています。

(CS委員/学童農園担当者)

地域の農家さんのご協力により、十四小では様々な野菜が観察/収穫できます。

学童農園(枝豆、サツマイモ、大根) **学年花壇**(ゴーヤ、トマト、きゅうり、ピーマン、ナス、キャベツ、つるなしインゲン、スナックエンドウ、ソラマメ、小松菜)
学年畑(サツマイモ) など **野菜嫌いの子が少なくなったかな？**

野菜は
おいしいよ！



TOPICS2

総合防災訓練&防災を学ぶ授業(by 地域防災プロジェクト)

小平市総合防災訓練とは 小平市が年に一度開催する規模の大きな訓練です。小平市を3ブロックに分けて場所を変えて順番に実施しています。今回2年振りに実施されましたが、コロナ対策で一般市民は参加出来ませんでしたので、十四小のために実施された貴重な開催でした。今回はCS防災プロジェクトが作成した「避難所運営マニュアル(コロナ版)」に則り、総合受付や体育館の避難スペースの設置、応急給水栓、マンホールトイレなどの設営を行いました。(防災プロジェクト)

～MENU～

煙体験 消火器体験
避難所設営見学
通報訓練 VR体験
車両/消火/ドローン
見学 担架作成
アマ無線訓練 等々

総合防災訓練だから
こそ体験できる充実
した内容でした!

全学年に防災訓練とタイアップした授業を実施!

3年生「非常用持ち出し袋」について、小平消防団第三分団の方々に教わりました。

- ①非常用持ち出し袋の中身とその活用方法
- ②非常用持ち出し袋をどこに置くのか、お家の人と決めることの必要性
- ③非常用持ち出し袋の中身(非常食の賞味期限など)を確認する日を決めることの重要性など、児童はもちろん保護者の方々にもとても勉強になる内容でした。

児童の
感想

- ・家族用と自分用の非常用持ち出し袋を用意することが大事だと思った。
- ・久しぶりの防災授業だったが、防災意識が高まった。もっと頻繁に行いたい。



「消防団の方がご自身の経験も踏まえて、とても分かりやすく教えてください、生徒たちも真剣な顔でお話を聞いていました。袋の中身を自分たちで考えるプリントも用意してください、生徒たちが真剣に考えて積極的に発言していたのが印象的でした。家庭でできる災害対策を改めて家族で話し合うきっかけになる大変すばらしい機会だったと思います。」 (保護者としても公開授業を参観したCS委員談)

TOPICS3

ボランティアへの参加の仕方は様々です!(by 地域教育コーディネーター)

お花植えや読み聞かせ、花育授業支援など、平日のボランティア活動に加えて、在宅での壁面飾り制作やベルマーク集計作業、土曜授業日の学級文庫の入れ替え作業など、いろいろな形にボランティア活動も進化しています!

夏休みのベルマーク集計作業では、子どもと一緒にできて案外楽しかった、なんて声も聞かれます。渡り廊下の壁面には、保護者のみなさんが自宅で作成してくださった十四小のキャラクターが子どもたちを見守ります。

ご家庭でベルマークやテトラパックを集める、それも立派なボランティアです! 子どもたちの笑顔のため、みなさんのお力をお貸しください!



キャラクターの名前
全部言えるかな?



< 学校経営協議会の記録 >

- 9月13日(火) 各プロジェクト・CS委員のそれぞれの取り組みについて情報共有しました。
- 10月18日(火) 総合防災訓練・防災教室・学力調査についての報告がありました。

十四小では、ほぼ毎日ホームページ(ブログ)を更新しています。学校での子どもたちの様子や学校だより、学年だよりなどを見ることができます。また、出席停止になった場合の登校許可証もダウンロードできます。ぜひ、ご活用ください。



コミュニティ・スクールとは、学校経営協議会を設置した学校のことです。学校と地域が相互に連携・協働し、一体となって子どもたちの成長を支え、よりよい社会を創ることを目指しています。

since2015